



県内探訪
Tchigi
足利市

～多くの映像作品に登場し、「旬」の人気を誇るまち～

個性豊かな県内各市町の姿を紹介しているこのページ。

今回は、数々の史跡が残り、

また映画・ドラマのロケ地としても有名な足利市をご紹介します。

足利市は、清和源氏の主流となった足利氏発祥の地として知られ、市内には、本堂が国宝に指定された足利氏ゆかりの寺「鍔阿寺」や日本最古の学校といわれる日本遺産の「史跡足利学校」をはじめ、数々の史跡が残り、歴史と文化の香りに満ちた美しいまちです。また、2014年CNNが選んだ世界の夢の旅行先10か所に日本で唯一選ばれた花と光の楽園「あしかがフラワーパーク」や世界最大級の収蔵を誇る陶磁美術館「栗田美術館」、サミット等で数々の要人にワインが振舞われた「ココ・ファーム・ワイナリー」など、世界に誇る観光資源があります。

これらの人気により、同市を訪ねる観光客は5年連続の増加中で、平成28年観光客入込数が、25年ぶりに400万人を突破しました。

来年4月開業予定のJR東日本と連携して整備を行う両毛線（足利・富田間）への新駅設置や平成32年の東京オリンピック、平成33年の市制100周年に向けて、これまでの良い流れに拍車をかけるべく、様々な取り組みを行っています。

足利市

News

足利シティプロモーション
「素通り禁止! 足利」プロジェクト

足利で暮らし、働き、学び、遊ぶ。そんな何気ない日常の中に、実は「素通り」するにはもったいない魅力がずっとまだまだあるはず。

このプロジェクトは、そんな足利の魅力を「素通り禁止! 足利」を合言葉にみんなで集めて、足利がどんなまちなのか一緒に考えていこう! という取り組みです。

百人いれば、百通りの「素通り禁止!」がここにある。

ぜひ足利であなたの「素通り禁止!」を探してみてください!
← 詳しくはこちら!

素通り禁止! 足利



「映像のまち」あしかが ～映画やテレビで見かけた、あの風景

最近、映画やドラマ、CMや音楽PVなどのシーンで「どこかで見たような……」と感じたことはないでしょうか。足利市では地域活性化の施策の一つに「映像のまち構想」を掲げ、さまざまな映像作品の撮影誘致を積極的に行っています。

今の時代、映像作品への露出は大きな力を持っています。関連イベントの開催や観光客の誘致、知名度・イメージの向上など、直接・間接の経済効果は計りしれません。足利市は東京から車で約90分という立地や市内の観光資源（豊かな自然や史跡の数々）・公共施設

●「映像のまち推進課」を設置

「映像のまち あしかが」を具体化するため、足利市では市の組織に映像のまち推進課を設置、組織的な取り組みを行ってきました。同課はホームページの開設や外部に対する情報発信の起点となるとともに撮影希望者への窓口でもあり、市の各部署や市民の協力を組織するコーディネーターの役割も果たしています。

▲「映像のまちあしかが」ホームページ

平成28年度は 60作品の撮影が

こうした地道な取り組みの結果、平成28年度はドラマ「沈まぬ太陽」「IQ246～華麗なる事件簿～」「アキラとあきら」、映画「兄に愛されすぎて困ってます」「帝一の國」など60作品の撮影が行われました。ちなみにこれらによる経済効果は、直接的なものだけで約6700万円に達すると試算されています。

●市の広報紙「あしかがみ」

映画等の撮影・制作を円滑に進めるためには、市民の理解・協力は不可欠です。足利市では市の広報紙「あしかがみ」のなかで連載のコーナーを設けており、毎号、さまざまな情報発信を行っています。

▲広報紙「あしかがみ」の人気コラム「映像のまち通信」

●あしかがフラワーパーク

園のシンボルである大藤は息をのむ美しさです。また、うす紅、紫、白黄色の藤が順に見頃を迎えます。年間150万人もの来場者。四季折々、8つのテーマで美しい花々が園内を彩ります。10月21日～2月4日にかけては400万球のLEDによるイルミネーションが彩る花と光の楽園です。



●史跡榑崎寺跡

源氏足利氏2代目足利義兼によって創建されたといわれる浄土庭園を持つ中世寺院の遺跡で、平成13年に国史跡に指定されました。



●史跡足利学校

宣教師フランシスコ・ザビエルが「日本国中最も大にして、最も有名な坂東の大学」と紹介した、日本最古の学校。創建には奈良・平安・鎌倉時代と諸説あり、室町時代以降、学徒三千といわれるほど隆盛を誇りました。孔子廟は現存する日本最古のものです。平成2年に方丈や庭園が江戸時代中期の姿に復原。平成27年に日本遺産として認定されました。



●足利織姫神社

奈良時代以来1300年織物産業の栄えた足利の守護神で、現在では産業振興と縁結びの神社として広く親しまれ、「恋人の聖地」にも選定されています。昭和12年に京都宇治の平等院鳳凰堂を模して現在の社殿が作られ、今年で遷宮80年を迎えます。



●鍔阿寺（ぼんなし）

鎌倉時代（1196年）創建の古刹。足利一門の氏寺としての守り本尊である大日如来を祀ります。足利氏の館だった敷地は周囲に土塁と堀をめぐらし、「日本100名城」にも選定の国史跡。本堂が国宝、鐘楼・経堂が国重要文化財、県・市指定文化財も多数。正に文化財の宝庫です。



●太平記館

大河ドラマ「太平記」を記念して建てられた施設で、観光情報の提供やみやげ品の販売、レンタサイクルの貸出などを行う観光の拠点です。



●足利まちなか遊学館

市内まち歩き観光の情報収集、休憩場所としてご利用ください。織物産業の歴史や映像のまち推進事業の展示のほか、足利銘仙や甲冑の着付け体験もできます。

足利市の見どころ

●ココ・ファーム・ワイナリー

2000、2008年のサミットや広島G7など各国の要人に供されたワインで知られるワイナリー。毎年11月3日には、ヌーボー（新酒）「のぼっこ」が新発売になります。今年の第34回収穫祭は11月18日・19日です。



profile

●足利市

大正10年（1921年）1月1日の市制施行により誕生した足利市。近隣町村とのいく度かの合併を経て、昭和37年10月の御厨町・坂西町の編入で現在の市域が完成しました。古くから織物の町として知られた一帯ですが、近年ではアルミや機械金属、プラスチック工業などを中心に、総合的な商工業都市として発展しています。

▶面積：177.76平方km
▶人口：147,790人（61,011世帯）
（平成29年8月1日現在）